エポカル武雄だより
2023年9月第174号

EPOCHAL TAKEO
エポカル武雄
武雄市図書館・歴史資料館

TOPIC 9月におこなうイベント展示のお知らせ

EVENT

こんちゅうとしょかん
～SAGAむし結び～

9月16日（土）～18日（月・祝）の期間、日本昆虫学会第83回大会が佐賀県で初めて開催されます。これを記念して、佐賀県内の様々な施設で「SAGAむし結び」として、昆虫関連のイベントが開催されます。

武雄市こども図書館では、9月1日（金）～30日（土）の期間、昆虫に関する絵本や図鑑のフェアコーナーを設置します。

デジタルスタンプラリーも開催しますので、設置施設ごとに違う昆虫を「採集」してお楽しみください。

▲SAGAむし結び
オフィシャルサイト
（デジタルスタンプラリーはこちら）

EVENT

世界アルツハイマー月間展示
～認知症について知ろう～

9月は世界アルツハイマー月間です。武雄市図書館では「認知症の方と共にやさしいまちづくり」をテーマに、9月1日（金）～30日（土）までの期間、図書館オープンスペースで、パネルや認知症標語受賞作品を展示し、認知症に関する本やパンフレット等を紹介します。また、展示最終日である9月30日は、「健康測定（血管年齢測定）」と「出張！おしゃべりカフェ」を開催します。

9月30日（土）

健康測定してみませんか？

場所：本館

場所：こども館

10月予告

エポカル武雄まつり開催

武雄市図書館・歴史資料館が現在の場所にオープンした2000年10月1日以来、オープン記念として毎年10月に開催しているエポカル武雄まつり。今年は10月1日（日）に第23回目を開催いたします。

10月1日（日）

音訳・点訳展示
エコブック（雑誌配布）

布遊具であそぼう
スペシャルおはなし会

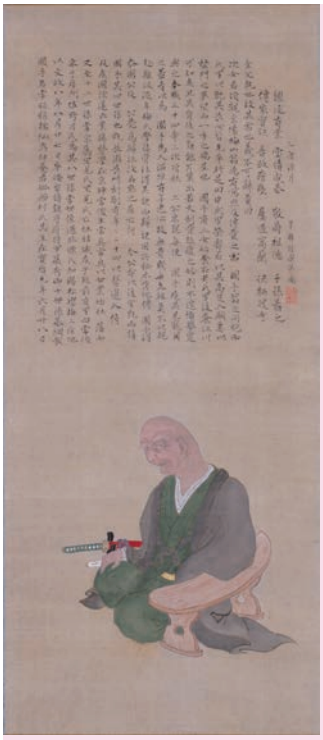
※予定が変更・中止になる場合がございます。図書館HP等でご確認ください。

所蔵資料のご紹介

有田家資料

有田家資料は、平成17（2005）年に武雄市に寄贈された総数が500点にもおよぶ資料群です。有田家は、松浦郡（現在の佐賀県北西部、長崎県北部・北西部のあたり）一帯にいた武士団・松浦党の子孫にあたる家柄です。資料群には、古文書や掛軸、やきものなどさまざまなものがあります。

今回のエポカル武雄だよりでは、有田家資料の一部を紹介します。



◀佐野常昭肖像
（文政8（1825）年、武雄市蔵）

佐野常昭〔1751～1825〕は、佐賀藩お抱えの医者を務めた人物で、日本赤十字社の創設者・佐野常民〔1822～1902〕の祖父にあたります。肖像と賛（絵の余白に書かれた詩や文章）をかいたのは、多久出身の草場佩川〔1787～1867〕です。賛には、常昭が文政8年8月27日に亡くなったこと、常昭が「孺仙」と名乗っていたことなど、常昭に関することが書かれています。なお、佩川は、佐賀藩多久領の学校・東原庠舎や藩校・弘道館で学生の指導にあたった人物です。

※この資料は、佐賀市にある佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館の特別企画展「日本のカメラはじめ」（9月10日（日）まで）で展示中です。

◀萩の尾茶屋雪景図
（19世紀、武雄市蔵）

武雄鍋島家の御用絵師（領主に仕える画家）・広渡心海（良寛）〔1806～1888〕が、武雄領主の別邸（萩の尾茶屋）を描いたものです。現在の御船山楽園にあたり、奥に描かれた山は御船山です。

◀染付松竹梅文筒茶碗
（江戸時代初期、武雄市蔵）

武雄市山内町にあった百間窯で江戸時代初期につくられた筒茶碗です。縁起がよいとされる松竹梅の絵が描かれています。筒の形をした筒茶碗は、主に冬場に使われます。百間窯の窯跡は、国指定史跡「肥前磁器窯跡」の一つです。

次回展覧会の予告

企画展「寄贈資料の中から有田家コレクション」

多種多様な有田家資料を展示します。

会場 武雄市図書館・歴史資料館　蘭学・企画展示室

会期 9月30日（土）～10月29日（日）

開館時間 日曜日～木曜日：9時～17時
※会期中無休　金曜日・土曜日：9時～18時

観覧料 無料

※災害時等、緊急時は休館いたします。

発行：武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館　9:00～21:00　年中無休　TEL.0954-20-0222　Fax.0954-20-0223
ホームページ：https://takeo.city-library.jp/

歴史資料館　9:00～17:00　月曜休館　TEL.0954-28-9105　Fax.0954-28-9205
ホームページ：https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html